

看護の統合と実践【実践看護技術】

担当教員	小林 正嘉 日沼 郁子	所 属	専任教員
対象学年/開講時期	第3学年/通年	単位数(時間数)	1単位(30時間)
履修の目的			
1) 臨床でおこりうる多重課題に対応し、看護倫理を踏まえ、安全に看護を実践する能力を養う。 2) 多職種と連携し、対象のQOLの向上を目指す方法について学ぶ。			
授業の形式 主として講義・演習を行う。			
成績評価の基準等 試験・出席・レポート提出を総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	よくわかる 看護の倫理綱領	照林社
②	音楽療法ハンドブック 看護と福祉領域のための	星雲社

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回 ～ 第7回	1. 多重課題演習（グループ及び個人） オリエンテーション	事例検討 多重課題演習	①	小 林
第8回 ～ 第14回	2. 対象のQOLの向上を目指した援助 音楽療法概論 高齢者の音楽療法 発達障害児の音楽療法 発達障害者・精神障害者の音楽療法 医療現場・災害時における音楽療法 ワークショップ① ワークショップ②		②	日 沼
(修了試験)				

学生へメッセージ

音楽をツールとして考えてみませんか？音楽を聴いたとき心地よく感じたり不快に感じたり感覚では理解していることを、音楽の何がそう感じさせているのかを音楽療法の視点から知り、いろいろな場面での音楽の役立て方を一緒に考えてみましょう。